



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

産業振興
都市整備

米の流通状況と稲作農業者の現状について

問 市内の米の相対取引価格を伺う。

部長 玄米 60 キログラム当たり、令和 4 年度産は 9480 円から 1 万 8000 円、令和 5 年産は 1 万 200 円から 1 万 8000 円、令和 6 年産は 1 万 4640 円から 2 万 3000 円となっており、安い価格帯では 55% 程度上がっており、高い価格帯については、28% 程度上がっている状況。

問 稲作農業者の占める割合について。

部長 市内の農業経営体数は 600 であり、そのうち水稻を作付した経営体は 359 で、約 59% の経営体が水稻を行っている。

問 補助を受けられるスマート農業について。

部長 農薬散布や施肥などの作業をドローン業者に委託する場合に、経費の 2 分の 1 を補助する。補助額の上限は 10 アール当たり 1000

円、1 申請当たり 4 万円を上限としている。

一般国道 139 号富士宮地区通行空間整備事業について

問 目的と概要について伺う。

部長 整備区間は、国道 139 号猪之頭交差点から県境までの 7.5km で、国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所において、自転車専用通行帯を車道外側の両側に 1.5 m 確保する計画と伺っている。

問 富士山の撮影スポットを整備できないか。

部長 さわやかパーキングを含めた既存の富士山ビュースポット 4 か所があるので、そこに駐輪スペースを設けて、撮影スポットの整備を計画していると聞いている。

問 道の駅朝霧高原、あさぎりフードパーク側に安全に渡れる方法について伺う。

部長 現在、地元より横断歩道の設置要望を上げている。自転車通行帯の整備に併せて、静岡国道事務所において、関係機関との調整協議を行い、安全な横断方法の検討を行うとのこと。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

企画
市民

ホテル誘致について

問 県との連携はいかがか伺う。

部長 本市において、今年度はホテル誘致の可能性に向けた調査分析や今後の戦略方針の策定を行った。そうした取組を県の担当部署や静岡県東京事務所にお知らせするとともに、県が主催する勉強会などを通じて情報共有を図っている。県では、今後のホテル誘致に向けた取組として、各市町と連携しながら、市町からの外資系高級ホテル誘致の候補地の情報収集や観光資源を含めたセールスシートの作成などを行い、開発事業者やホテル運営事業者などに情報提供していくことを検討している。本市における候補地の選定ができた際には、直ちに情報を提供していきたい。

問 現在、具体的な候補地は何箇所か上がって

いるのか伺う。

部長 公有地、民有地を含めて 8 か所程度の検討場所を挙げた。ここは良いというところは 1 か所あった。世界遺産のすぐ隣にある。そこならばすぐにでも一流ホテルが来るのではないかと返事をもらった。

問 田貫湖周辺はどうか伺う。

部長 もちろんその辺りも候補地になっている。田貫湖全体の整備の中で検討していきたい。

持続可能な公共交通に向けて

問 空飛ぶクルマのデモ飛行を朝霧に誘致することはいかがか伺う。

部長 誘致する段階ではないのが現状だと考える。しかし、富士山をバックにした飛行実験はシティープロモーションとしてもインパクトがあると感じる。実験場所の提供の相談等があった際には関係部署と連携して対応していきたい。

意見 待っているのではなく、手をあげて一緒に相談したらよいと考える。